

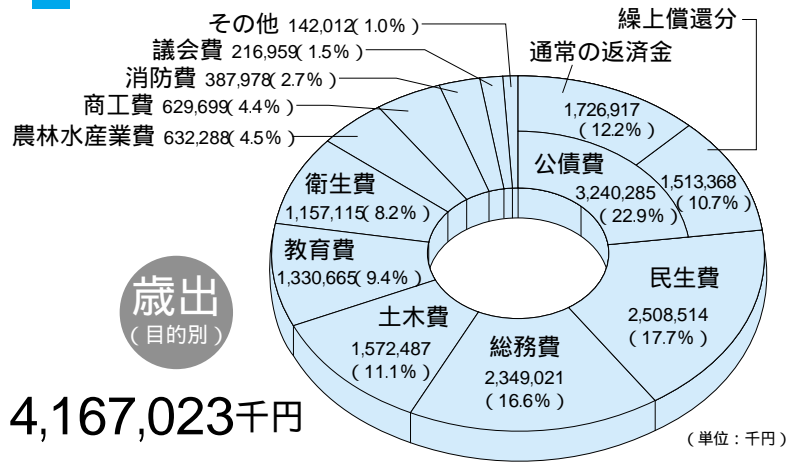
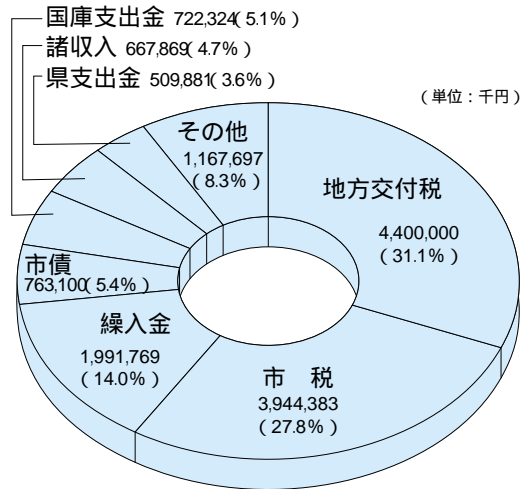
歳入 14,167,023千円

平成14年度予算

142億円の使われ方

健全な財政運営を引き続き堅持

(平成12年度に続き、13年度も優れた財政状況が認められ、白石市は全国671市中、地方債の許可手続き簡素化適用の32団体に入っています)



歳出 (性別) 14,167,023千円

項目	金額	割合
公債費	3,240,285	22.9%
通常返済金	1,726,917	12.2%
繰上償還分	1,513,368	10.7%
人件費	3,223,019	22.7%
物件費	2,188,957	15.5%
繰出金	1,445,105	10.2%
補助費等	1,383,758	9.8%
投資的経費	1,148,367	8.1%
扶助費	822,671	5.8%
その他	714,861	5.0%

市の一般会計当初予算の総額は、約142億円となりました。歳入(収入)のうち、一番大きいのは国からもらえる地方交付税で44億円、全体の31.1%となります。

次は、皆さんに納めていただく市税で約39億円、全体の27.8%です。市民の皆さんのために行う事業の予算を歳出(支出)といいます。

白石市では、市民の皆さんに満足していただけるサービスの提供に努めています。例えば、介護保険に該当しない高齢者に対する生きがいサービス、障害者のスポーツ施設の利用助成、育児支援策としてのファミリーサポートセンターの管理運営をはじめ市独自のいろいろな施策です。ほかの市町村ではあまり行わない、市独自のサービスができるのは、白石市の財政が比較的順調だからです。

白石市の予算の一番大きな特徴は繰上償還です。市が必ず支払わなければならない借入金の返済は、17億円で予算の12.2%程度です。しかし、将来、私たちの子供や孫に負担をかけさせないために、まだ返さなくていい分についてもどんどん返しています。これが繰上償還です。それが今年は15億円ほどになっています。

繰上償還の総額は、平成14年度予定分まで含めると87億円ほどになります。7年度からこのように返していますから、碧水園、スパッシュランド、白石城などの借入金はすべて返し終えています。これらの繰上償還金の資金は、余裕財源を積み立てていた預金を引き落としして充てていますので、福祉、教育といった行政運営に支障はありません。

ちなみに、繰上償還しないで普通に返済した場合を試算して、どのくらい効果があったかをみますと、およそ26億円もの利払いの負担が軽減されたこととなります。このように繰上償還により負担が軽減された分、住民サービス向上のためにより多くの事業を行っています。

歳出予算の主な事業は次のとおりです。

総務費

白石市三本木線、白角線、大張線生活路線バス運行委託および市民タクシーの運行経費に1,336万円
IT社会に対応する情報化対策、アテネ(情報センター)の管理運

営に9,963万円
国際交流員の設置など国際交流事業に1,447万円
スパッシュランド、碧水園、白石城などの管理運営に9,026万円
ホワイトキューブのイベントや管理運営の委託に1億9,099万円

民生費

シルバー人材センター運営費補助に1,000万円
福祉タクシーや障害者スポーツの利用助成、デイサービス、ホームヘルプサービス事業など身体障害者福祉費に1億4,068万円
知的障害者の地域生活援助、福祉作業所やまぶき園の運営委託など知的障害者福祉費に2億6,898万円
生きがいデイサービス、自立者支援のためのホームヘルプサービスやショートステイ、ねたきり老人等紙おむつ給付、高齢者無料バス助成、配食サービス、バリアフリー住宅普及促進事業など長寿福祉費に1億6,688万円
老人福祉センター、総合福祉センターおよび福祉プラザやまぶきの運営委託に4,244万円
中心市街地にデイサービスセンターを建設する経費に1億8,577万円
児童手当、重度障害児(者)日常生活用具給付、心身障害児(者)ホームヘルプサービス事業など児童措置費に2億29万円
保育園、児童館の管理運営に5億6,581万円
ひこうせん(心身障害児通園施設)の管理運営に1,284万円
子育て支援センターの管理運営に1,253万円

衛生費

患者輸送車の運行や在宅当番医の運営委託に1,130万円
健康診査、がん検診、骨粗しょう症検診、予防接種業務委託や痴呆予防対策経費など市民の健康を守る経費に1億9,268万円
リサイクル運動の報償金、合併処理浄化槽の設置補助金など生活環境保全の経費に1億2,439万円
精神障害者小規模作業所の管理運営に609万円
歯科休日診療所の運営委託に273万円
市内全域のゴミ収集委託に5,890万円

労働費

勤労青少年ホーム、働く婦人の家、勤労者体育センターの管理運営に5,207万円
育児支援策としてのファミリーサポートセンターの管理運営に479万円

農林水産業費

市民農園関係費、農業祭の負担金など農業振興事業に924万円
畜産振興事業に127万円
中山間地域等直接支払事業や農道、用水路、ため池整備など農村居住環境の保全と改善のための経費に1億582万円
食品リサイクル施設の外構整備や維持費に3,474万円
松くい虫防除、造林事業、砂押山線開設事業など林業振興費に1億1,409万円

商工費

商店街の活性化に対する助成、こけしコンクール負担金、中小企業振興資金融資信用保証および利子補給、中小企業経営資金の円滑化を図るための貸付金など商工業振興費に4億6,978万円
観光協会、春・夏まつりおよび観光振興のための助成など観光費に2,657万円
温麺の館、弥治郎こけし村の管理運営に954万円
圧雪車購入などスキー場の整備に7,299万円

土木費

市道の改良、舗装、側溝整備など道路橋梁の整備に2億6,962万円
沖の沢郡山線街路の整備に2億6,555万円
検断屋敷復元工事など材木岩公園整備費に9,398万円
シルバーハウジング建設事業に1,713万円

消防費

消防団の運営や小型動力ポンプ積載車などの整備、防災対策など消防費に3億8,798万円

教育費

小中学校総合体育大会などの選手派遣やスパッシュランドの利用助成に406万円
小中学校コンピュータなどの借上に4,580万円
小中学校生徒指導対策、特色ある学校づくりおよび総合的学習事業に459万円
刈田総合病院分校電話設置工事や大鷹沢小学校公共下水道切替工事、各小学校の補修工事に1,999万円
連絡通路工事など南中学校体育館建設事業に1,196万円
外国人による英語指導事業に1,192万円
幼稚園の管理運営に1億4,643万円
公民館、図書館、青少年相談センターの管理運営に1億7,840万円
学校給食センターの管理運営に3億4,099万円

特別会計

国民健康保険特別会計
29億9,073万2千円
(対前年比2億4,336万2千円増)
下水道事業特別会計
16億8,364万円
(対前年比5,250万2千円減)
地方卸売市場事業特別会計
377万7千円
(対前年比8万7千円減)
老人保健特別会計
45億8,590万2千円
(対前年比1億1,962万3千円増)
農業集落排水事業特別会計
1億4,209万7千円
(対前年比9,638万4千円増)
介護保険特別会計
15億3,814万7千円
(対前年比6,564万円減)
水道事業会計
収益的収入 10億4,545万3千円
収益的支出 10億4,446万2千円
資本的収入 1億2,877万7千円
資本的支出 3億2,637万2千円